

公益財団法人大堀育英財団の概要

[沿革]

- 昭和50年9月、大堀秀夫を初代理事長に「財団法人^{しんがかい}伸芽会育英財団」として設立。福井県大野市に事務所、東京都豊島区目白に東京連絡所を置き、奨学金事業、体験活動事業、研修会事業などの教育関連事業を開始。
- 平成14年4月、法人名を「財団法人^{おおほり}大堀育英財団」に変更。
- 平成16年10月、設立者の大堀秀夫死去。
- 平成17年11月、福井県大野市出身の桑森真介(明治大学教授)が理事長に就任。
- 平成21年11月、東京連絡所を廃止し、事務局を福井県大野市の事務所へ一元化。
- 平成23年3月、福井県知事より平成20年施行「公益法人制度改革関連三法」に基づく公益法人への移行認定を受け、同年4月1日登記、法人名を「公益財団法人大堀育英財団」に変更し、現在に至る。

[近年の活動内容]

- 奨学金事業 貸与奨学金月額4万円(無利子)、平成28年度の奨学生数30名
- 体験活動事業
 - 平成17年度 子ども柔道教室
 - 平成18年度 子どもスキー教室
 - 平成19年度 子どもジャズ教室
 - 平成20年度 子ども科学教室
 - 平成21年度 富士山キャンプ教室
 - 平成22年度 富士山キャンプ教室
 - 平成23年度 富士山キャンプ教室
 - 平成24年度 子ども相撲教室
 - 平成25年度 事業公募を開始、卓球技術講習会を共催の他、助成事業8件を実施
 - 平成26年度 市制60周年記念事業「平成大野丸中学生派遣事業」等、助成事業10件を実施
 - 平成27年度 明治大学マンドリンクラブ大野コンサートを主催の他、野外こどもアート、第31回 Summer カントリースクール in 大野など助成事業9件を実施

[設立者のプロフィール]

設立者・大堀秀夫は昭和2年、東京都豊島区に生まれた。立教大学大学院・教育学研究科を卒業後、立教大学・助手および文化女子短期大学・講師として勤務。その後、東京で幼児教育の専門機関「(株)伸芽会」を設立し、晩年まで社長を任務した。大堀秀夫の両親は福井県大野市出身であり、自身も戦時中大野市に疎開していた経験があったことから、大堀は、東京で「(株)伸芽会」を経営しながらも、福井県の教育界に貢献したいと考え、昭和50年9月10日、親戚であった大野市の現理事長・桑森真介の実家を事務所として、「財団法人伸芽会育英財団」を設立した。設立に必要な資金の大部分は大堀秀夫が拠出し、初代理事長は大堀自身が務めた。著書に幼児教育用図書「子どもを大きく伸ばす小学校受験 私立・国立小学校入試合格の大切な真実、小学館、1995年」など多数。